

令和4年 業種別労働災害発生状況

(令和4年1月1日～12月31日)確定

浦河労働基準監督署

浦河署管内	令和4年			令和3年[確定値]			対前年		本年分	
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	割合(%)	
全産業計	2()	218	220	2()	178	180	40	22.2%	100%	
業種内訳	製造業	()	12	12	()	4	4	8	200.0%	5.5%
	食料品	()	6	6	()	2	2	4	200.0%	2.7%
	木材木製品	()	2	2	()			2		0.9%
	家具・装備品	()			()					
	窯業・土石	()			()	1	1	-1	-100.0%	
	金属・機器	()	1	1	()			1		0.5%
	その他	()	3	3	()	1	1	2	200.0%	1.4%
	鉱業	()			()					
	土石採取業	()	1	1	()			1		0.5%
	建設業	1()	9	10	1()	20	21	-11	-52.4%	4.5%
	土木工事業	1()	3	4	()	9	9	-5	-55.6%	1.8%
	建築工事業	()	2	2	()	3	3	-1	-33.3%	0.9%
	木造建築業	()	3	3	1()	7	8	-5	-62.5%	1.4%
	その他	()	1	1	()	1	1			0.5%
	道路貨物運送	()	4	4	()	5	5	-1	-20.0%	1.8%
	その他の運輸	()			()					
	陸上貨物取扱	()			()					
	港湾荷役業	()			()					
	林業	1()	1	2	()	1	1	1	100.0%	0.9%
	漁業	()	3	3	()	6	6	-3	-50.0%	1.4%
卸・小売	()	7	7	()	4	4	3	75.0%	3.2%	
清掃業	()	4	4	()			4		1.8%	
畜産業	()	118	118	1()	113	114	4	3.5%	53.6%	
その他の事業	()	59	59	()	25	25	34	136.0%	26.8%	

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により作成したものです。

死亡災害者数の()欄は交通事故(道路交通法適用)で内数。

令和4年の災害統計(令和4年1月1日～12月31日に発生した災害の統計)は令和5年3月までに提出された死傷病報告から集計いたしますので、これが令和4年の災害発生件数の確定値となります。全産業における死亡及び休業4日以上の労働災害(令和4年中に発生した災害)は220件で、前年より40件増加となっています。事故の型別統計は以下の通りです。

事故の型別統計(軽種馬産業除く)(令和4年1月1日から同年12月31日まで)

	転倒	墜落、転落	はさまれ、巻き込まれ	交通事故(道路)	動作の反動、無理な動作	激突され	切れ、こすれ	激突	その他	総計
件数	28	16	11	3	6	2	1	1	37	105
全体占有率	27%	14%	11%	3%	6%	2%	1%	1%	35%	100%

軽種馬産業において令和4年に発生した災害は115件となりました。昨年の災害発生件数の112件と比較して3件増となりました。

災害の型別統計(軽種馬産業)(令和4年1月1日から同年12月31日まで)

	落馬	踏られた	踏まれた	馬とともに転倒	騎乗中に柵等に接触	引っ張られた	馬に激突された	かまれた	引き馬中に転倒	その他	総計
件数	32	25	7	10	7	6	7	1	1	19	115
全体占有率	28%	22%	6%	9%	6%	5%	6%	1%	1%	16%	100%
災害の型別 主な傷病名	胸部骨折 頭蓋部打撲	胸部、手指の骨折	手、足の骨折	胸部骨折	大腿骨骨折	肩、手首の骨折	肩、手の骨折	手指の骨折	足の複数部位打撲		

刈払機での除草作業、厩舎から落下、馬運車での移送作業中の災害、馬に起因しない転倒等含む

今月のコメント